

大きな卵!?

① 日出町公園の遊具(日出町1丁目)

まるで卵のような球状の遊具。裏側に回ってみると、2方向へと滑ることのできる滑り台になっています。ユニークな形のこの遊具、市内にくつかあるので、近くの公園で探してみてください。



緑豊かなまちを
散策するぞ



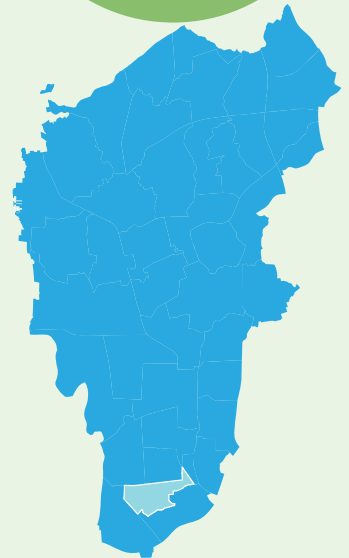
マチカネくんと歩く

まちある記

第14回

水路が小道となつて残るまち
日出町から島江町へ

庄内南小学校区



歴史を感じさせる町工場

② レンガ造りの倉庫(大黒町1丁目)

70年以上この場所にある薬品会社工場のレンガ倉庫。前を通る人たちが、興味深いのぞいていくそうです。実はこれは現在も使われているアルコール製品の貯蔵庫。歴史を感じる倉庫ですが、いつ建てられたか分かっていません。知る人ぞ知るまちの名所になっています。



まちの歴史を
感じるぞ

古くは、京へと通じる鎌倉街道が横断し栄えました。現在は校区の北側に「庄本牛立線」沿いに、公共施設や大型商業施設などが並び活気を見せています。かつては水路だった細かな小道が校区を巡り、地域の人たちの散歩道にもなっています。

◎まちを練り歩く梵天太鼓

もともと島江公園は、庄内神社に合祀された島江稲荷神社跡。併設する島江自治会倉庫には、明治13年(1880)に作られた梵天太鼓と布団太鼓が収められており、秋のお祭りでは、



島江青年会などの皆さんが飾り立てた太鼓のみこしを担ぎ、まち中を練り歩きます。庄内南小学校1期生で、同自治会の山原寛さん(74歳、島江町)は、「祭りに参加する梵天太鼓の中でも一番大きいのが、まちの自慢」と話します。

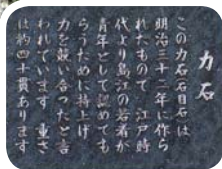


青年への登竜門

④ 島江公園の力石 (島江町2丁目)



明治32年(1899)に作られ、石の重さは約150キログラム。島江村の若者が青年として認めもらうために持ち上げたといいます。また、石の近くには高さ約10メートルにもなる大きなクスノキがあり、地域のシンボルになっています。



緑のトンネルがある遊歩道

⑤ 庄内中央緑道(大黒町、島江町)

赤いレンガ調に舗装された道には、トウカエデ、キンモクセイなどさまざまな植物が植えられています。この道は、昔の農業用の水路で、庄内幸町5丁目から南に向かって伸びています。「庄内みどり通り」と愛称がつけられ、地元の人たちの憩いの道になっています。



旧猪名川の港と鎌倉を結ぶ

③ 鎌倉街道(京街道)(大黒町、島江町)

庄内南小学校の南側に面する道は、かつて鎌倉街道と呼ばれ、西宮と京都を結んでいました。校区の西隣・庄本町の旧猪名川付近には、大阪からの荷船の船着き場もあり、街道を通して鎌倉へ物資が運ばれたことから鎌倉街道と呼ばれるようになったそうです。



◎かまっこ

鎌倉街道と庄内みどり通りが交差する交差点の角に、「鎌菰」と彫られた灯籠があります。これは「かまっこ」と読み、この辺りの道が「鎌」の形に似ていたことと、菰江に通じる道だったことから、こう呼ばれるようになったそうです。灯籠は、昔の呼び名を後世に残したいと、この場所で生まれ育った西口盛一さん(74歳、大黒町)が自費で建てました。



7月号は、東豊中小学校区をご紹介します。お楽しみに。